

東京大学教養学部創立70周年記念シンポジウム

学際知の俯瞰力

——東京大学駒場スタイル

2019 7/7
13:30-17:00
SUN 日

東京大学駒場Iキャンパス
講堂(900番教室)

第1部 創立70周年によせて ——駒場へのメッセージ

13:30-15:00

総長挨拶: 五神真 (東京大学総長)
Makoto Gonokami

学部長挨拶: 太田邦史 (東京大学教養学部長)
Kunihiro Ohta

ビデオメッセージ

大隅良典 (東京大学特別荣誉教授、東京工業大学特任教授・荣誉教授)
Yoshinori Ohsumi

記念講演1「駒場に期待すること——教養知と環境」

浅島誠 (東京大学名誉教授、帝京大学学術顧問・特任教授)
Makoto Asashima

記念講演2「共感できない人が隣にいる。ライン交換、どうしますか？」

ロバート キャンベル (東京大学名誉教授、国文学研究資料館館長)
Robert Campbell

第2部 駒場スタイルの未来 ★印: 東京大学教員 15:15-17:00

東浩紀 (批評家、作家) 岡ノ谷一夫^{*} (生物心理学)
Hiroyuki Azuma Kazuo Okanoya

鹿毛利枝子^{*} (比較政治学) 金子邦彦^{*} (非線形・複雑系の物理)
Rieko Kage Kunihiro Kaneko

西崎文子^{*} (アメリカ政治外交史)
Fumiko Nishizaki

コーディネーター: 武田将明^{*} (イギリス文学・言語態研究)
Masaaki Takeda



参加申込はQRコードから



KOMABA STYLE

学際知の俯瞰力

——東京大学駒場スタイル

登壇者略歴



浅島誠 Makoto Asashima

東京大学名誉教授(元教養学部長・元副学長)、帝京大学学術顧問・特任教授、東大駒場友の会会長。2001年紫綬褒章・日本学士院賞・恩賜賞、2008年文化功労者、2017年瑞宝重光章。専門は発生生物学。著書に『生物の「安定」と「不安定」—生命のダイナミクスを探究』(NHK出版、2016年)、ほか。



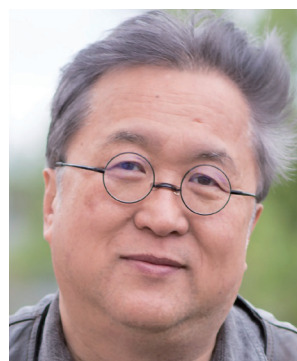
ロバート キャンベル Robert Campbell

東京大学名誉教授、国文学研究資料館長。2000年、東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻比較文学比較文化コース助教授、2007～2017年、同教授。専門は近世・近代日本文学。とくに19世紀(江戸後期～明治前半)の漢文学と、漢文学と関連の深い文芸ジャンル、芸術、メディア、思想など。著書に『東京100年物語』(岩波文庫、2018年)、『井上陽水英訳詞集』(講談社、2019年)、ほか。



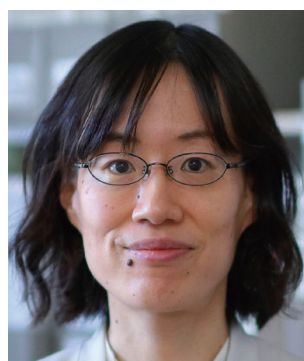
東浩紀 Hiroki Azuma

批評家、作家、株式会社ゲンロン創業者、同社発行『ゲンロン』編集長。1999年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。著書に『存在論的、郵便的』(新潮社、1998年)、『クォンタム・ファミリーズ』(新潮社、2009年)、『弱いつながり 検索ワードを探す旅』(幻冬舎、2014年)、ほか。



岡ノ谷一夫 Kazuo Okanoya

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系認知行動科学グループ・教授。東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構(UTIDAHM)機構長、部局横断型教育プログラムこころの総合人間科学(PHISEM)プログラム長、人間行動科学研究機構準備室(CiSHuB)代表、総合文化研究科附属進化認知科学研究センター長。専門は生物心理学。より具体的には、意識と言語の進化生物学的基礎。著書に『言葉はなぜ生まれたのか』(文藝春秋、2010年)、『つながりの進化生物学』(朝日出版社、2013年)、ほか。



鹿毛利枝子 Rieko Kage

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻・准教授。専門は比較政治学、市民社会論、司法政治論、日本政治など。著書に *Civic Engagement in Postwar Japan: The Revival of a Defeated Society* (Cambridge University Press、2011年)、*Who Judges? Designing Jury Systems in Japan, East Asia, and Europe* (Cambridge University Press、2017年)、ほか。



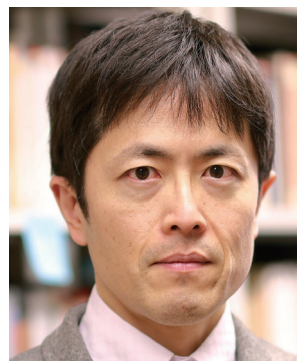
金子邦彦 Kunihiko Kaneko

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻相関基礎科学系・教授。東京大学複雑系生命システム研究センター長。研究内容は、カオスを中心にした非線形科学、複雑系の物理、非平衡統計物理、またそれらをふまえた生物学への理論的アプローチ。著書に *Complex Systems: Chaos and Beyond* (共著、Springer、2000年)、*Life: An Introduction to Complex-Systems Biology* (Springer、2006年)、『生命とは何か—複雑系 生命科学へ』(東京大学出版会、2009年)、ほか。



西崎文子 Fumiko Nishizaki

東京大学大学院総合文化研究科グローバル地域研究機構・教授。専門はアメリカ政治外交史・アメリカ研究。研究テーマは20世紀アメリカ外交の理念的考察。著書に『アメリカ外交とは何か—歴史の中の自画像』(岩波書店、2004年)、『戦後アメリカ外交史 第3版』(共著、有斐閣、2017年)、ほか。



武田将明 Masaaki Takeda

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻・准教授。専門はイギリス文学・言語態研究。主たる研究テーマはイギリス18世紀小説。著書に『『ガリヴァー旅行記』徹底注釈 注釈篇』(共著、岩波書店、2013年)、『現代作家アーカイヴ1：自身の創作活動語る』(共著、東京大学出版会、2017年)、ほか。